



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03)3271-2181
URL:https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

(2月)
13日(月) 理事会(No.1188)
27日(月) 理事会(No.1189)

(3月)
13日(月) 理事会(No.1190)
27日(月) 理事会(No.1191)

経営者・共販セミナー

主催：東京都生コンクリート工業組合
日時：2月17日(金)15時～
場所：第一ホテル東京(新橋)

【組合員の変更】

(加入)
2023年2月1日付
カナリョウ(株)
(脱退)
2023年1月31日付
神奈川菱光コンクリート(株)

(※2023年1月出荷実績は裏面に)

令和5年 新年賀詞交歓会を開催

コストアップの迅速な価格転嫁に向けての協力依頼と決意を表明

当協組は新年賀詞交歓会を1月5日(木)に都内のホテルにて開催し、約200名の方々にご出席をいただきました。

齋藤理事長は年頭挨拶の中で本年度の最重要課題として「コストアップの迅速な価格転嫁」を掲げ、取り組みへの決意を述べました。

挨拶の内容は以下のとおりです。



明けましておめでとうございます。日頃は当協組の運営にご理解ご協力を賜りありがとうございます。冒頭に組合員の皆様とご家族のご健勝をお祈りするとともに、新たな生コン産業への改革を遂行して現在直面している経営危機を打破し、素晴らしい年になることを祈念いたします。

昨年より当協組はセメントを中心とした諸資材、燃料等の高騰によって大打撃を受けている状況です。これを解決すべく昨年6月から生コンを3,000円/m³価格改定させていただきましたが、全生連、建設物価調査会様並びに経済調査会様の御陰もあり早く改定ができ、ほぼ満額の金額でユーザー様からご理解いただいている状況です。しかしながらコストアップは一向に収まらず、セメントの再値上げを受けて本年4月より2,000円/m³の追加値上げを行うことになりました。たった10ヶ月で5,000円の価格改定を行うほど経営が追い込まれています。更に当協組は旧契約物件が450万m³程残っておりこのコスト負担は100億円超となりますが、各社の自助努力のみでは対応が困難なため、協組による経営支援策として剰余金を取り崩すとともに金融機関からの借入れを行い生コン代金の仕入価格を増額(買い増し)する予定です。しかしそれでも厳しい状況との見通しから、旧契約についても昨年10月より500円/m³の価格改定をお願いしている次第であります。

一方、出荷数量面では虎ノ門、品川、八重洲をはじめとする大規模再開発工事が本

格化し、周辺エリアにおいても同様で、本年度の出荷数は大きく回復して300万m³が見えてきました。しかしながら作業員不足、コロナ感染拡大の影響等により減少する懸念は残っています。また令和5年度においても引き続き各地区の再開発工事を中心に300万m³超の出荷数量を期待しています。

このような状況下における当協組は大きな困難、課題を克服するために次の4つの最重要施策に取り組んで参ります。

①新しい販売方式の導入と適正価格の確保

本年4月からの引合物件については2,000円/m³の値上げを実施します。併せて新しい販売契約方式として、販売価格の設定を「出荷ベース」にて「1年間の期間契約」とすることとしております。ユーザー様からまだ十分にご理解を得られていないことは承知しておりますが、当協組並びに組合員が持続的な発展をしていくために必須であることから導入に至りました。不退転の覚悟で一丸となって強固な姿勢で取り組んで参ります。

②安定供給の確保

新しい販売方式により適正価格をお願いするからには高品質の生コンを安定供給することが必要です。引き続き工場要員、運転手、車輛の確保に務めるとともに、これまで以上に組合員、輸送会社、セメントメーカー、骨材業者との連携を強化して参ります。

③戻りコン・残コン、出荷キャンセルの削減

相変わらず残コン、戻りコンの減少は見られないとともに、廃棄物の受け入れ先が減少しています。これは生コン工場の出荷にも影響しかねないため、廃棄処理の削減に向けて残コンについても有償化を本年4月より実施いたします。また予定の変更、出荷キャンセルについても減少が見られません。車輛の有効活用及びコスト削減の点から需要家・工場共に大変有意義なことであるため、引き続き削減をお願いして参ります。

④構造改善の推進

今後年間需要は多くを望むことはでき

ず300万m³前後で推移するものと想定される一方、工場生産能力、協組運営方法は変わっていません。コストアップと数量減を生コン価格に転嫁するだけでなく、工場集約化、IT化、協組運営方法の改革等、協組として構造改善を推進し合理化を目指します。

<登録販売店との共存>

これらの重要施策を達成するには登録販売店様のご理解、ご協力がなくては成しえません。特に新たな販売契約方式は登録販売店様にとっても大きな課題であり、困難を強いられ経営危機に陥る可能性もあると思っています。そのため当協組にできる支援策として、新販売方式においては協組から登録販売店様に手数料を支払うこととし、更にデリバリーと技術対応で当協組の共同販売事業にご協力頂けた物件については、更なる奨励金を検討することとしております。

本年は癸卯(みずのとう)で成長する年と言われ、何度転んでも起き上がり不可能を可能にする年とのことです。協同組合と登録販売店様は相互理解、相互信頼、相互扶助によってこの難局を一緒に乗り越え共存していきたいと思っておりますので、よろしく願っています。

結びに、各社のご隆盛と本日もご参集いただきました皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

続いて来賓お二方からご挨拶をいただきました。

【セメント協会流通委員長 中野幸正様 (太平洋セメント(株) 取締役専務執行役員 セメント事業本部長)】



明けましておめでとうございます。日頃より大変お世話になっております。また昨年のセメントの値上げに関しましては大変前向きな貴協組の対応に感謝いたします。

さて、コロナ禍に加えウクライナ情勢で世界的混乱の中、一日も早く普通の生活に戻ることを切に願うとともに経済情勢の早期安定も願っておりますが、この間、石炭をはじめとする燃料価格は急騰しており、セメントメーカーも企業努力だけでは追いつかず値上げを実施いたしました。セメントメーカーは軒並み赤字経営となりましたが、将来的にも国を造るためには生コン・セメントは必要です。サプライチェーンのどこか一点で費用負担をさせられるようでは生コンの供給は安定せず、ひいては日本の社会のためにはなりません。そのためにも適正な価格転嫁は必要であり、それに向けての努力をするときだと思っております。皆様のご協力を是非お願いいたします。

昨年の嬉しく感動的な出来事にサッカーワールドカップで日本がスペイン戦に挙げた2点目があります。セメントメーカーも球際に強く一生懸命やっていたと思います。

【東京生コンクリート卸協同組合 理事長 山下豊様】



明けましておめでとうございます。また平素より大変お世話になっており厚く御礼申し上げます。

生コン業界の状況については齋藤理事長と中野流通委員長からございましたので、販売店の立場からひと言だけ申し上げます。昨年来は新契値上げと旧契値上げがあり、我々販売店は重たい荷物を背負いながら懸命に坂道を歩いている状況かと思えます。加えて本年4月から契約形態が変わりますが、これは長年に亘る生コンの商慣習の大きな転換であります。その壁は低くなく乗り越えるのも簡単ではないと考えておりますが、諺の中に「片手で錐は揉まれぬ」とあります。生コンメーカーの皆様と我々販売店とで手を合わせて両手で錐を回し、慣習という古い壁に穴をあけ、開けた穴から新しい生コン業界の姿が見えてくるのではないかと期待しています。

昨年の寅年は成長の芽が出ずる年、今年の卯年は飛躍の年と言われています。昨年までの様々な取り組みを今年は成果に結びつける一年にしたいと思っております。

